

平成23年7月

新潟・福島豪雨1周年

シンポジウム

入場無料

～申込方法は裏面をご参照下さい～

忘れません！ 「あの日・あの時」

小須戸橋右岸

長岡市西野地区

信濃川 五十嵐川合流点

五十嵐川堤防決壊箇所（三条市江口）

刈谷国川遊水地

平成24年
8月20日(月)

14:00～17:00

【13:30 開場】

定員300名

新潟ユニゾンプラザ

多目的ホール（※会場へのアクセスは裏面をご参照下さい）

〒950-0994

新潟市中央区上所2-2-2 TEL 025-281-5511

■基調講演

■パネルディスカッション

平成23年7月27日から信濃川下流域に降り続いた雨は、笠堀観測所で総雨量が1,000mmを超え、流域内各地に大きな被害をもたらしました。

この豪雨により、流域の水害リスクを考慮した更なる河川整備の必要性が問われるとともに、水防・避難などにおける新たな課題も浮き彫りになりました。

甚大な被害をもたらした豪雨から1年が経過し、近年頻発する局地的な集中豪雨等や将来予想される地球温暖化等への対応について、昨年の洪水を踏まえた上で、必要なソフト・ハード対策における今後の課題をテーマにシンポジウムを開催します。

主催／国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所

後援／新潟日报社、新潟県、信濃川下流域市町（新潟市、三条市、加茂市、燕市、田上町、長岡市、見附市）、新潟大学 災害・復興科学研究所